

都市でもサポート



東京都 6年
菅野 貴之くん

石田牧場のエサ用の畑では、丈が3メートル近くある大きなトウモロコシが、ハーベスターという機械で次々に刈り取られていました。収穫後、機械で切断され、乳酸発酵した後、長期保管が可能。可能な保存食になるそうです。ハーベスターに乗せてもらいましたが、運転席が高く、とてもワクワクしました。

同行したお母さんの感想
取材を通じて子どもがイチバン変わったことそれは今まで以上に農産物への興味を持てたことです。農産物を作るための取り組みを学び、野菜、果物の本来のおいしさを実感できたことは、貴重な財産となりました。菅野千代さん



JAいせはらのファーマーズマーケット「あふり〜な」



「あふり〜な」の
店長・多田 政弘さん

「あふり〜な」の店長・多田 政弘さん
鮮で安全な農畜産物を手ごろな価格で提供していることや、野菜や果物の品評会などのイベントを行うことによ

この日、JAいせはらの敷地内にあるファーマーズマーケット「あふり〜な」ではブドウの品評会が行われていました。甘さや色、形などが審査され、優秀な物には賞が与えられます。こうした取り組みにより、農家同士で技術を高め合っています。



エッ！と驚く野菜を発見！
トランペットズッキーニだよ



JAいせはらの市川勉さんの案内でブドウの品評会を見学

とれたて野菜を直売！

実はつながっている！ 都市とJA

— 4回シリーズ —

て、お客さんに喜ばれているのとことでした。

また、11月15日にはJAいせはら農業まつりが開かれ、地元の農畜産物がたくさん販売されるそうです。

都市にもある農地

JAいせはら本所があるのは、住宅やお店がたくさんある街の中です。地域の農地を取材すると、すぐそばに民家やマンション、大きなビルがありました。

こうした都市農業は、消費地に近いため、とれたての物がすぐ食べられるという利点があります。それだけでなく、緑の空間があることで景観を良くし、街の魅力を高めることを知りました。



街の中にも畑や農園があったよ！

郊外には農業地域が広がる

街の中心から少し離れたと、農業地域が広がっています。その中のひとつ、石田牧場を見学しました。



石田牧場のジェラートはJAのファーマーズマーケットにもありました

食べられる花があることを初めて知りました。実際に食べてみたら甘ずっぱくてレモンのようでした。取材して、ふだん私たちが口にしている食材は、たくさんの方が関わっていることが分かりました。学習したことを生かし、出された食材を残さず食べたいです。

東京都 5年
狩生 環実さん



同行したお母さんの感想
ファーマーズマーケットにトランペットズッキーニなど、見たこともない野菜がたくさんありまして、その中でも感動しました。食料品も取材を通して、食料品にたくさんのおいしさが詰まっていることを実感できたと思います。(狩生 聖子さん)



エサ用トウモロコシの収穫を見学



営農経済部の部長・諸星さんに取材

の後訪ねた牛舎では、入口で靴の裏を消毒するルールになっているなど、衛生的な環境で牛が育てられていることが分かりました。

ファーマーズマーケットで見かけた食べられる花「エディブルフラワー」を作っている加藤京子さんのところにもおじゃましました。その場で花を摘んで食べさせてもらった3人は、初めての経験に歓声をあげていました。



街の中心からも近い加藤花園

都市農業の役割

最後に都市のJAの特長などについて、営農経済部の部長・諸星さんに取材しました。

また、都市農業について、次のようなことを教えてもらいました。

「たとえば大雨が降った時に近くの水田があると、貯水池のような役割が果たせますし、農地を避難場所として使うなど、防災機能があります。もうひとつは、緑があることで、地域の人にやすらぎを与えることができる。それが都市農業の

JAグループ
秋の大収穫祭 実施中!

実りの秋、JAのファーマーズマーケット・農業祭には、旬のおいしいものがいっぱいだよ。

秋の大収穫祭の期間中、全国のJAファーマーズマーケットで、JAの魅力がたくさん詰まった「フレマルシェ増刊号」を配布しているよ！クロスワードパズルにチャレンジして、全国のお米をもらっちゃおう！

くわしくは
JAきずな 検索

実施期間：2014年9月12日(金)～11月30日(日)

東京都 4年
久富 祐輝くん

同行したお母さんの感想
8月の青空、積雲の白、田畑の緑、働く人たちのたくましさ、朝採りのハリの野菜、絵巻画のような風景の中での取材でした。食卓の向こうに見えない手がたくさんあることを知り、感謝の気持ちがいっぱいになりました。(久富 雅子さん)

JAのおまつりでは、屋台に地元の特産品が並び、自分たちの土地の野菜がおいしいとうれしくなります。作る人と食べる人がおまつりで顔を合わせて仲良くなれたら、農業が身近に感じられていいと思います。

2つのJAを取材したりリポーターは、JAがどんなことをしているかを学ぶとともに、食についての理解を深めることができました。これから、日々の食生活や農業のことについて、もっと関心と感謝の心を持ちたいと話していました。

取材を終えて

大切な役割だと思っています！